

講習会のお知らせ

■ 救急法基礎講習：1日コース

心肺蘇生やAEDを用いた除細動などが学べます

10/14(日)・12/8(土)・3/21(木・祝)	日赤富山県支部	9:00~16:30
2/20(水)	県総合体育センター	9:00~16:30

■ 健康生活支援員養成講習：2日間コース

健康増進と高齢者に起こりやすい事故の予防・手当、日常生活の自立に向けた介護の知識と技術などが学べます

10/18(木)~19(金)・2/2(土)~3(日)	日赤富山県支部	9:00~17:00
----------------------------	---------	------------

■ 幼児安全法支援員養成講習：2日間コース

子どもに起こりやすい事故の予防と手当、子どもの病気への対応などが学べます

11/8(木)~9(金)・3/2(土)~3(日)	日赤富山県支部	9:00~17:00
--------------------------	---------	------------

■ 救急法救急員養成講習：2日間コース

急病の手当、けがの手当、搬送などが学べます

10/20(土)~21(日)・12/15(土)~16(日)・3/23(土)~24(日)	日赤富山県支部	9:00~16:30
2/21(木)~22(金)	県総合体育センター	9:00~16:30

● 資格継続研修

2016（平成28）年3月31日までに救急員等認定証を取得され、かつ発行日から2年経過し有効期限内の方が対象です。[2016（平成28）年4月1日以降の救急員等認定証取得者への資格継続研修は廃止されました。]受講により、現在お持ちの認定証の有効期限が5年延長されます。資格継続研修は、2019（平成31）年3月31日をもって廃止されます。

救急法 ▶ 12/7(金)・3/10(日)	水上安全法 ▶ 12/10(月)	日赤富山県支部
健康生活支援講習 ▶ 12/1(土)	幼児安全法 ▶ 12/2(日)	13:00~17:00

赤十字講習の指導員派遣

赤十字では、富山県支部主催の講習会のほか、指導員の派遣も行っております。電話で、開催希望日・希望する内容・受講者人数・会場をお知らせ下さい。（TEL：076-451-7878）

※指導員の派遣は、受講者が10名以上の場合とさせていただきます。

※指導員の手配や資材の数に限りがあるため、ご希望に添えない場合があります。



受講のお申し込みやお問い合わせ先 日本赤十字社富山県支部 事業推進課 TEL 076-451-7878 <http://www.toyama.jrc.or.jp/>（ホームページから申し込みができます）

街頭献血のお知らせ

★お昼時間は受付を休みます。
★日程は都合により変更することがあります。

10月

7日(日)	アル・プラザ小杉	10:00~16:00
8日(月)	イオンモールとなみ 黒部市総合体育センター	9:00~16:00 10:00~15:30
11日(木)	立山舟橋商工会館 前	12:30~16:00
12日(金)	富山県庁	9:30~16:30
14日(日)	ファボーレ 新湊漁港	10:00~16:30 8:00~15:00
20日(土)	ありそドーム 富山短期大学	9:30~16:00 10:00~16:00
27日(土)	イオンモール高岡	10:00~16:30
28日(日)	ファボーレ	10:00~16:30

11月

3日(土)	ショッピング ア・ミュー	9:30~16:00
4日(日)	イオンモール高岡	10:00~16:30
10日(土)	パロ-石坂店(駐車場)	9:00~16:00
11日(日)	ファボーレ PLANT-3 滑川店	10:00~16:30 9:00~16:00
18日(日)	ファボーレ	10:00~16:30
23日(金)	ハッピータウン氷見店	10:00~16:00
25日(日)	イオンモール高岡	10:00~16:30

12月

2日(日)	ファボーレ	10:00~16:30
9日(日)	イオンモール高岡	10:00~16:30
15日(土)	イオンモール高岡	10:00~16:30
16日(日)	ファボーレ	10:00~16:30
23日(日)	イオンモール高岡	10:00~16:30
24日(月)	ファボーレ	10:00~16:30
29日(土)	ファボーレ	10:00~16:30
30日(日)	イオンモール高岡	10:00~16:30



〈表記以外の献血場所〉 マリエ献血ルーム 富山市桜町1-1-61 マリエとやま6F TEL 076-445-4500 受付時間は、10:00~12:00・14:00~18:00

お問い合わせ先 富山県赤十字血液センター TEL 076-451-5555 <https://www.bs.jrc.or.jp/tkhr/toyama/>



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

赤十字とやま

平成30年7月豪雨（西日本豪雨）特集











広島県呉市 救護所と巡回での診療を行う富山県支部救護班

6月28日以降の台風7号や梅雨前線の影響による記録的な大雨で、西日本を中心に甚大な被害をもたらした「平成30年7月豪雨」。

この豪雨によって被災された方々に対し、日本赤十字社では、岡山県・広島県を中心に、被災県及び近隣各府県支部から救護班やDMAT（災害派遣医療チーム）などを派遣し、巡回診療や保健医療ニーズの調査などを行いました。

今回は、富山県支部による広島県呉市での救護活動を報告します。

数字で見る日本赤十字社の活動（8月1日現在）

 派遣した救護班 ※日赤DMAT合計23班を含む 87班 <small>救護班の基本編成 (医師1人、看護師3人、事務2人、計6人)</small>	 毛布配布数 10,000枚
 派遣した災害医療コーディネーターチーム 19班	 安眠セット配布数 1,397セット
 派遣したところのケア班 20班	 緊急セット配布数 2,528セット
 活動した赤十字ボランティア (物資搬送、ボランティアセンター運営ほか) 208人	 タオルケット配布数 275枚

平成30年7月豪雨災害(西日本豪雨)での日本赤十字社富山県支部の救護活動

7月20日(金) 活動日誌

- 6:00 起床
 - 8:00 避難所の公共施設「安浦まちづくりセンター」(広島県呉市安浦町)(以下「まちづくりセンター」)へ移動
 - 8:30 まちづくりセンター内で朝の会議に出席
[主な内容]
・巡回診療の時間を確認
・救護所の診療時間に関する館内放送を依頼
- 呉市の保健師、静岡県の保健師、地元日赤病院のこころのケア班・リハビリ班、広島県薬剤師会の薬剤師、まちづくりセンター職員などが出席
- 救護所には、避難所の避難者だけでなく、自宅で生活する地元住民やボランティアが来られます。結膜炎、蜂さされ、熱中症、慢性疾患の処方切れの他、不安症や不眠症を訴えられる患者さんもおられます。
- 呉市での救護活動は、日赤内で、第3ブロック(愛知、静岡、三重、長野、岐阜、福井、石川、富山)が担当。
- ※DVT・・・深部静脈血栓症。四肢または骨盤の深部静脈で血液が凝固する病態のこと。いわゆる、エコノミークラス症候群。
- 医療が必要な方はいない
・上水道は復旧しておらず、水は湧き水を煮沸して飲んでいるが、環境面は特に問題なし
・大きな蜂に注意が必要
- 数名、フラッシュバックのような訴えや親族を亡くしたことによる寂しさの表出が感じられ、精神的な面のフォローアップが必要
・上水道は通るも下水は不通
- 9:00 まちづくりセンター内の救護所で診察開始
 - 9:25 富山県支部の活動を22日から引き継ぐ岐阜県支部に、活動状況や必要物品などを連絡
 - 10:15 呉市災害医療調整本部に駐在の赤十字コーディネーターチームに富山県支部の活動状況を報告
 - 13:45 広島県内の検査技師で構成された「DVT臨床検査技師チーム」が静脈血栓スクリーニングを行い、エコー検査を実施(検査希望の避難者11名は全員異常なし)
 - 16:30 まちづくりセンター内で夕方の会議に出席
[主な内容]
・まちづくりセンター冷房が一部故障していたが、新しい冷房が入り避難所の環境が改善
・JR呉線で呉市の病院へ通院していた患者さんの処方切れが出てきていることを広島県薬剤師会や地元医師会に情報提供(JR呉線の運転再開は平成31年1月を予定)
 - 17:00 本日の診療終了
 - 20:30 救護班メンバーで本日の振り返りと明日の予定を打ち合わせ
 - 23:00 救護日誌などをメールで呉市災害医療調整本部や富山県支部などに一斉送信し、就寝



富山県支部医療救護班 派遣期間：7月18日(水)～7月22日(日)

- 医師(内科医) 篠崎 洋
- 医師(研修医) 片岡 和也
- 看護師長 村上真由美
- 看護師 萩中 優子
- 看護師 若林かおり
- 主事(薬剤師) 五十嵐信生
- 主事(事務員) 藤井 隆嘉



医師(内科医) 篠崎 洋

私達の活動は、呉市安浦地区での救護所での救護活動と周辺集落への巡回診療が主なものとなりました。医師が二人の救護班であったこともあり、救護所活動と巡回診療を並行させて活動を行うことができ、被災者のニーズの他、避難所を総括する呉市保健所のニーズにも合わせて応えることができました。



医師(研修医) 片岡 和也

救護所での診療と巡回診療を中心に被災地にて活動を行いました。ライフラインは整っており、私たち以外にも支援チームが入っていたため、避難所での支援に大きな障害はありませんでした。しかし、被災者の方々の精神的な疲労や、普段から内服されている薬の継続的な確保の難しさなどを実感しました。



看護師長 村上真由美

避難所となっている安浦まちづくりセンターには50名ほどの方が過ごされていました。保健師や薬剤師、災害支援看護師、こころのケアチームの方々と多くの情報を共有し、被災者の方々のニーズを理解し、救護所での救護活動や巡回診療を行いました。活動を通して、日頃からの災害への備えや必要な支援が継続されることの大切さを痛感しました。



主事(薬剤師) 五十嵐信生

薬剤師、また主事として救護活動に参加させて頂きました。開設していた避難所では薬剤師会の方々と連携し、患者さんに必要な薬を提供できました。また自治会長さんが道案内をして下さり、救護所に来られない患者さんの診療を行いました。大きな災害を前に一人では無力だと感じますが、連携し合うことで被災地の方々のニーズに応えることができました。

平成30年7月豪雨災害義援金

500件

23,806,872円

(富山県支部受付分 8月31日現在)

平成30年12月31日まで受け付けます

日本赤十字社では、被災された方々の生活再建の一助とするため、義援金を受け付けています。



義援金が届くまでの流れ

